

議会のだより



3月定例会

平成22年第1回定例会を3月3日(水)から18日(木)まで開催しました。内容は議員発議による「議会委員会条例の一部を改正する条例」1件、平成22年度予算案を含む議案32件をすべて原案のとおり可決し請願3件を不採択とし、また、議会改革特別委員会の調査報告をしました。

一般質問では、7人の議員が町政全般について行いました(紙面の都合で一般質問の一部を掲載します)。

議会改革特別委員会報告

議員定数は18人(現状維持)を賛成多数で可決

区長会より「町議会議員

の定数を2人削減し、16人とする」要望書が議長宛に提出された件について、議会改革特別委員会を設置しました。

要望内容の重要性を十分に踏まえ、先進地調査や勉強会など特別委員会を慎重

審議を行った結果、議員定

数は18人(現状維持)とすることに決定しました。

本会議で委員会報告の後、15人が報告に対する討論を行い、記名投票で採決を行いました。

採決の結果、賛成多数で可決しました(表決の結果

は次のとおりです)。

【賛成した議員(9人)】

- ・ 田邊信雄
- ・ 山口 将
- ・ 浅野正己
- ・ 新井典夫
- ・ 渡邊 明
- ・ 金井茂夫
- ・ 安田博敏
- ・ 久保田一郎
- ・ 金子光国

【反対した議員(8人)】

- ・ 津久井明人
- ・ 青木 満
- ・ 河田敏勝
- ・ 平田昌利
- ・ 森 昌彦
- ・ 村山俊明
- ・ 村山博茂
- ・ 川島 洋

(議席順)

一般質問



検診と予防ワクチンの無料化を

渡邊 明 議員

A 今後調査・検討します

Q 子宮頸がん検診と予防ワクチンの無料化を

子宮頸がんは、年間約1万5000人の女性が発症し、約3500人が死亡しています。子宮頸がんの予防対策として、予防ワクチンが昨年12月から、国内での販売・使用が解禁されました。

予防ワクチン接種と検診を合わせて実施すると、ほぼ100%子宮頸がんは防げると言われています。がん対策は重要な事業

です。女性の健康と命を守り、少子化対策・子育て支援の立場から、予防ワクチン接種と検診を無料にしてほしい。

町長



保存会による「ささら舞い」

Q 町民参加をすすめるための規制緩和を

A 協働の仕組みづくりや支援体制を整備したい

村山俊明 議員

が、実施事例もありますので、このような協働のまちづくりを前向きに進めて欲しい。

町長

桜の名所城之内公園周辺は、時期になると大勢の人で混雑します。近くの校庭を有料で開放し、地域の皆さんが、その駐車料を財源に清掃や管理などの地域活動を行えるようにすべきと思います。

校庭の有料駐車場化は難しい状況ですが、先進事例について調査・研究を行い、大泉町にふさわしい協働の



イベント時校庭の有料開放を

仕組みづくりや支援体制を整備したい。城之内公園の桜の観光名所としての活性化については、前向きに鋭意検討しています。

Q 伝統文化(ささら舞い・里神楽などの保護育成を

A よりいっそうの保護育成に努めます

山口 将 議員

町長

歴史に目を向け、温故知新の気持ちが大事であると考えます。伝統文化として残っている地域の歴史にも、学ぶべきところはたくさんあります。

昨年、ぐんま伝統文化継承事業として「伝統芸能まつり」が開催され、「仙石ささら舞い」が出演して、各団体同士の情報交換など、よき交流の場になりました。

町としても、各団体が抱える後継者の育成を含めた各種相談や要望を受け、今後も積極的に協力を行い、よりいっそうの保護育成に努めます。

Q 未整理地区の生活環境整備推進策を

A 新たな整備手法について検討します

田邊信雄 議員

従来型の区画整理を前提

とし、新しい生活環境整備への思い切った方針転換や、未整理地区生活環境整備対策室の設置、また、未整理地区生活環境整備基本計画の作成、町と地元住民代表とによる未整理地区生活環境整備会議の実施など、住民

Q 診療報酬改定による医療への影響は

A 非常に憂慮しています

金子光国 議員

現在国が進めている診療報酬改定には、大きな問題点が2つあります。

1つは、一般病棟への入院が90日を超えると診療報酬が大幅に減らされることで、病院が入院患者を早く退院させるようになること。もう1つは、入院ベツ

町長

当該地区の生活環境整備は急務であると認識していますが、解決するためには、区画整理による市街化



市街化区域内の未舗装の町道(寄木戸)

整備が最適の手法と考えています。しかし、今後、早期の解決に向けた新たな整備手法について検討していきます。

Q バランスシート・パブリックコメントは

A ともに実施の方向で準備に取り組んでいます

村山博茂 議員

体的に意見募集する政策があればお聞かせください。

企画財政課長

バランスシート(貸借対照表)は、自治体の財政状況をより分かりやすく説明するために、決算調査に参考資料として公表されています。本町においては平成22年度にバランスシートの公表ができるのか伺います。また、パブリックコメント

本町のバランスシートは、総務省の基準モデルを使い、平成22年度内に公表する方向です。また、パブリックコメント制度は平成22年度に試行し、23年度でしつか



更なる情報公開と意見聴取を

りとした要綱を規定してきました。新年度には、第五次大泉町総合計画、都市計画マスタープラン、男女共同参画プラン、協働の指針などを予定しており、町民皆さんに積極的に参加していただきたいと考えています。



どうなる入院患者 (写真はモデル)

町長

国による聖域なき構造改革で医療崩壊を招いたことは、まことに遺憾です。現内閣がささやかながら診療報酬を0・19%増額したものの、医療費削減の基本的な姿勢は変わっていない。経営者にすれば90日過ぎたら病院を出ていつてほしいというのが本音です。高齢者は介護施設に入れるが、若者には行き場がなく、非常に憂慮しています。



工業誘致で町の活性化を

工業誘致で町の活性化を
 携しながら、町の意向を企業側に伝えていきたい。できる限りの努力はしていきます。

合併が発表された町内大手企業の動向については、町民の関心が高いところですが、町としても、今後も引き続き情報収集に努め、製造拠点として本町に残ってくれることを期待するとともに、トップセールスとして積極的に経営トップと会う機会を設け、県や関係団体とも連携しながら、町の意向を企業側に伝えていきたい。できる限りの努力はしていきます。

Q 産業振興への取り組みは

A できる限りの努力はしていく

久保田 一郎 議員

町内企業の生産規模の縮小や税収の落ち込みなど、産業空洞化への危機感や不安感があります。町長は、選挙公約の中で、優良企業を誘致して経済雇用の活性化

化を訴えてきました。今後、産業振興についてどのような取り組みを行う考えですか。

町長

合併が発表された町内大手企業の動向については、町民の関心が高いところですが、町としても、今後も引き続き情報収集に努め、製造拠点として本町に残ってくれることを期待するとともに、トップセールスとして積極的に経営トップと会う機会を設け、県や関係団体とも連携しながら、町の意向を企業側に伝えていきたい。できる限りの努力はしていきます。

請願

皆さんからの請願は、現在このようになっていきます。

- 不採択（3件）
 - ・全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める請願書
 - ・後期高齢者医療制度の廃止を政府に求める請願書
 - ・地域を支える中小業者の支援を求める請願書
- 継続審査（6件）
 - ・現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書提出を求める請願書
 - ・日本への核兵器持ち込みを認めた「密約」の公表と廃棄を求める意見書の採択を求める請願
 - ・「所得税法56条の廃止を求める意見書」の採択を求める請願書

皆さんからの請願は、現在このようになっていきます。

核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書を政府等に提出することを求める請願書

社会的セーフティネットの拡充を求める意見書採択についての請願書
 ・改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府等に提出することを求める請願書
 （本会議の結果）

議会費予算を削減しました

大泉町議会では、町の厳しい財政事情を考慮し、昨年度から議会だよりの単独発行を廃止しました。これにより、議会費予算を2,619,000円削減することができました。

議会だよりは、内容を精選・縮小したうえで、町広報紙に年4回掲載することになりましたので、町広報紙の発行費増加分を差し引くと、実質2,484,600円の経費削減となります。

議会広報編集委員会では、限られた紙面を有効に活用して、今後も、より分かりやすい議会情報の提供に努めていきます。

6月定例会

□日時 6月8日(火)
 午前10時～(予定)

※皆さんの傍聴をお待ちしています。どなたでも気軽に傍聴できます。詳しくは、議会事務局へ。

■議会だより文責

- 議長 引間サチ子
- 【編集委員】
 - 委員長 渡邊 明
 - 副委員長 浅野正己
 - 委員 田邊信雄
 - 委員 山口将